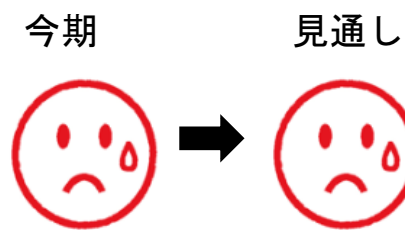
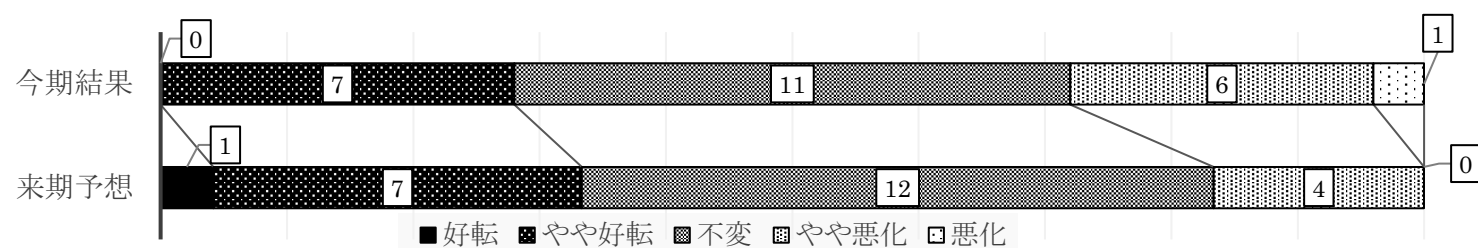


建設業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移
新型コロナウイルスの影響を受けているものの、少しずつではあるがリフォームなどの見積もりが増えている。業種業態によって景況感にばらつきがみられる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

数年前に比べて公共工事の量が減少しているが、年度末という事もあり公共工事を中心に仕事量は確保出来ている。木材等の仕入単価が高騰しており、材料代も一年前と比べて10~20%上昇している。業種業態によって景況感にばらつきがみられる。

【丹波市の来期の景況予想】

工事の見積り依頼があり徐々に回復傾向にあるが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらなければ工事が先送りされることが予想される。

■全国の景気動向

業況は小幅な改善にとどまっている。民間の住宅関連では、リフォーム工事が好調である。しかし、公共工事が徐々に減少している事や、人手不足や資材不足等で工期の遅れが発生し、資金繰りに影響が出ており、先行きが不安である。

■県下の景気動向

公共工事は減少しているものの住宅関連においては、リフォーム工事等が徐々に増えてきている。人材不足や資材不足等により大きな回復には至っておらず、依然として厳しい状況が続いている。

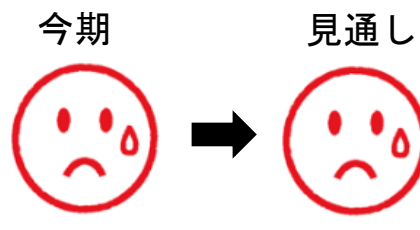
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	1	0	0	1	1	4	16.0%
不変	0	5	0	2	0	1	8	32.0%
悪い (悪化+やや悪化)	2	6	1	2	2	0	13	52.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

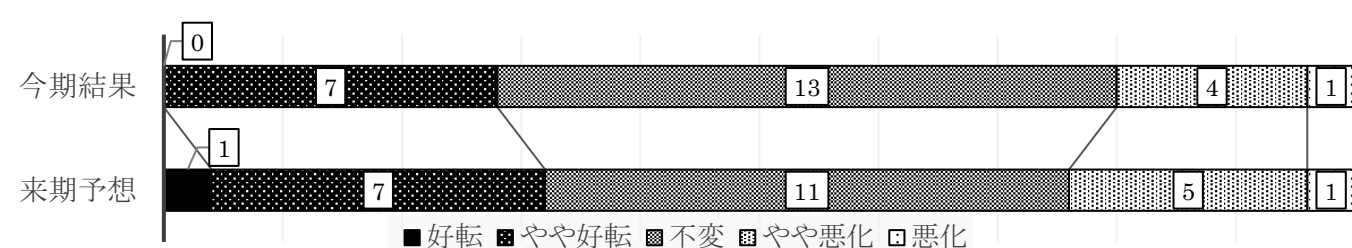
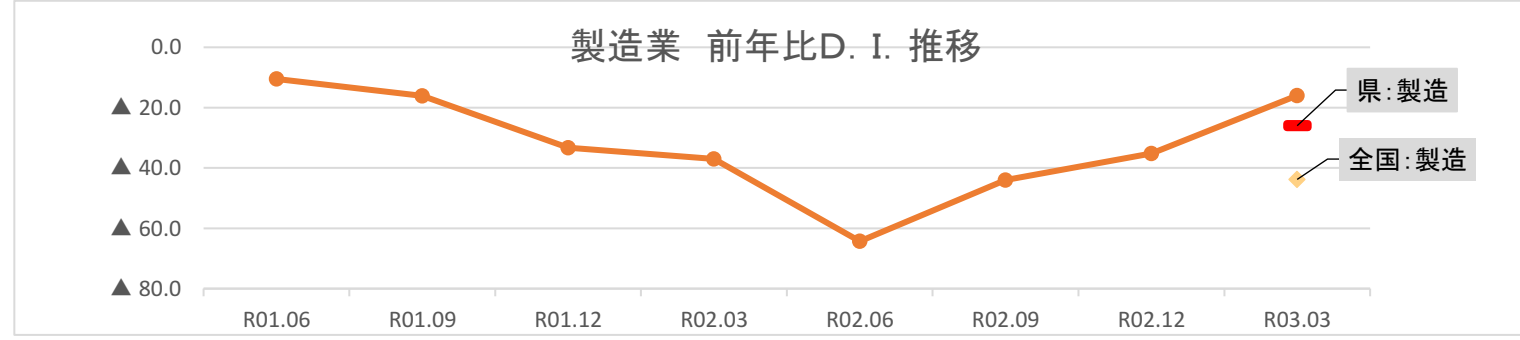
製造業

回答率：100% (25/25)

2021年1月~3月期調査



■丹波市の景況推移
回復基調が加速しているが、業種業態によって回復度合いが大きく異なる。一部では需要停滞や生産調整が続いており、懸念材料が残る状態となっている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

新型コロナウイルスの影響により、一部の業種では海外からの部材の供給に滞りが発生し、生産調整を行っている。また、半導体の世界的な不足から生産調整に入っている事業所も見受けられ、自動車関連及び電子機器関連等に影響が出始めている。

【丹波市の来期の景況予想】

回復基調にはあるが、新型コロナウイルスの再拡大により、見通しが定まらなると予想される。

■全国の景気動向

回復基調が加速しており、自動車関連は大幅に上昇し、食料品関連は引き続き、巣ごもり需要が堅調で緊急事態宣言前の水準まで回復をしているが、原材料の高騰や販売先の飲食店の需要減退などの不安要素も多い。一方、業種によっては国内外の需要停滞や生産調整は引続いており、見通しが定まらないことから、積極的な活動ができない結果となっている。

■県下の景気動向

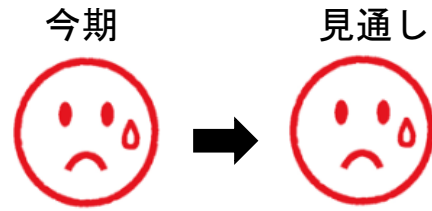
業種業態によって回復度合いが異なるが、回復基調が続いており、堅調に推移をしている。しかし、今後も不安材料が残る結果となっており、見通しが悪い状態となっている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	0	1	0	1	6	24.0%
不変	1	2	2	2	2	0	9	36.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	4	3	0	1	2	10	40.0%
合計	3	8	5	3	3	3	25	100.0%

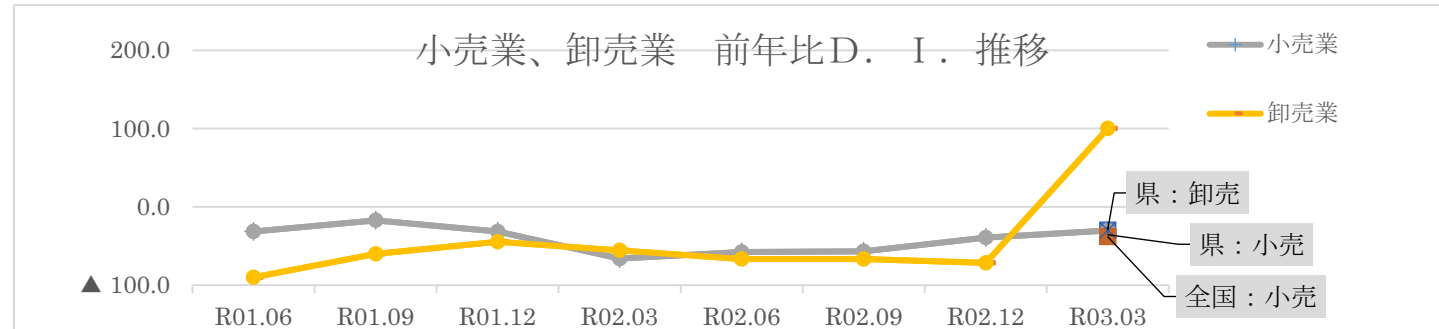
小売、卸売業

回答率：96% (24/25)



■丹波市の景況推移

食料品・耐久消費財関連は新型コロナウイルスの影響は少なく巣ごもり需要もあり売上維持の傾向である。3月の緊急事態宣言終了を受け、新生活に向けた需要の増加も見込める業種もあるが、まだまだ厳しい状況が続く見込みである。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

食料品類は巣ごもり需要の影響で比較的安定した状況が続いている。ガソリンスタンド等は原油価格の高騰で利益確保が難しい。外出自粛要請の影響から観光客等の需要が下がり売上減少傾向にある。

【丹波市の来期の景況予想】

緊急事態宣言の終了を受け、来期への見通しは比較的明るい兆しも見受けられるが、自動車関連などでは外出自粛の影響が続きそうであり、売上減少が予測される。給付金などを利用して農機具を購入される方もあるが、高齢化により農家が減りつつあるため売上減少も予想される。

■全国の景気動向

食料品関連は、内食向けは巣ごもり需要が好調であった。衣料品関係は、卒業・入学・入社シーズンが続くことから好調に推移している。耐久消費財関連は、ウイルス対策関連商品に加え、新生活に向けた需要の増加により、回復傾向が加速している。石油製品価格の上昇が続く中、ガソリンスタンドなどが悪化した。

■県下の景気動向

食料品関連は、巣ごもり需要の影響が続いている。衣料品関連や耐久消費財関連も緊急事態宣言の終了を受け、春先の新生活に向けた需要があり、一部持ち直しの企業もある。

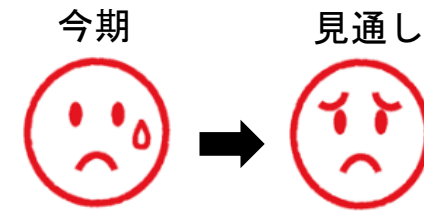
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	2	1	1	0	0	5	20.8%
不変	0	3	0	2	2	1	8	33.4%
悪い (悪化+やや悪化)	4	4	0	1	1	1	11	45.8%
合計	5	9	1	4	3	2	24	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

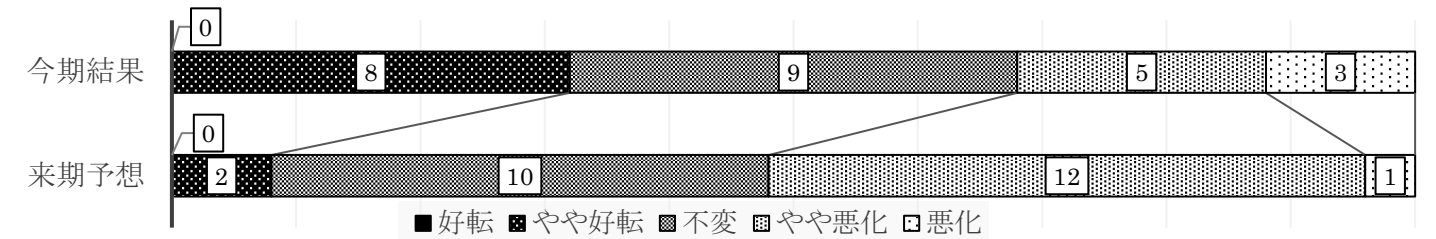
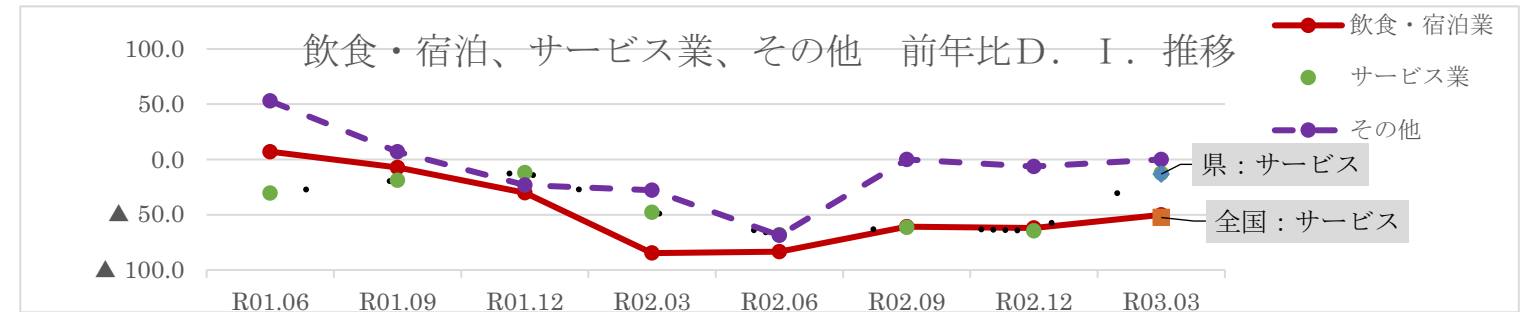
回答率：100% (25/25)

2021年1月～3月期調査



■丹波市の景況推移

来期も飲食宿泊業を中心としたサービス業は厳しい状況が予想される。緊急事態宣言により人の動きが停滞している為、短期間での飲食・宿泊・観光等の需要回復は見込めない状況である。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

全国的にはDI値改善傾向が見られるも、丹波市内については厳しい状況が続いている業種が目立つ。飲食業では、昼間の営業は若干回復傾向にあったが、夜は営業時間短縮等によりまだ回復には至っていない。一方不動産業ではコロナの影響で、都市部から中古物件の問合せが増えている等、業種によって明暗が出ている。

【丹波市の来期の景況予想】

来期も飲食宿泊業を中心としたサービス業は非常に厳しい状況が予想される。大型連休期間中も緊急事態宣言により人の動きが停滞している為、短期間での飲食・宿泊・観光等の需要回復は見込めない状況である。

■全国の景気動向

全国的には旅館・ホテル、飲食店といった個人向けサービスが低水準ながら少し上向いた。また、巣ごもり需要拡大によりインターネット関連サービス（音楽・動画配信サービス業等）が引き続き好調である。業種間の景気DIに温度差はあるものの、15業種中14業種でプラスの傾向が見られた。

■県下の景気動向

サービス業ではいくつかの業種でDI値の改善が見られた。宿泊業では一部地域でビジネス関連の利用や、緊急事態宣言解除の効果もあり若干回復したが、依然低い稼働率が続いている。飲食業は来店数減少傾向が継続しており洗濯業も、昨年同期よりは改善しているものの、依然厳しい状況が続いている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	1	2	1	1	0	5	20.0%
不変	2	5	1	1	1	0	10	40.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	2	1	2	1	1	10	40.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%